

副専攻名 フィールド文化学

副専攻のCP(カリキュラム編成方針)

1年次には、フィールド調査やそれをベースにした研究方法について、「フィールド文化学概説」を中心に学ぶ。2年次以降は、比較文化学、文化人類学、文化遺産学の各フィールド系研究領域における基本的な考え方やフィールド調査における基本技術を習得するため、「比較文化学概説」、「文化人類学概説」、「文化遺産学概説」のほか、「フィールド基礎実習」で自分の足で歩き、自分の目で見、自分の肌で感じるフィールド体験から学ぶとともに、調査レポート作成や研究発表のプレゼンテーションの力をつける。

副専攻の学習成果

人類の文化や社会に関するさまざまな問題に、総合的・学際的な視野からフィールドワークを中心にアプローチし、得られた情報を論理的に整理・分析・考察し、説得力ある結論を導くことができる。

副専攻を構成する科目

科目番号	授業科目名	学生の学習目標	学年	Q	Q	Q	Q
				1	2	3	4
21201	フィールド文化学概説A	フィールドワークという方法の長所と短所、面白さと難しさ等について知り、「フィールド文化学」の基礎を学ぶ。	2			*	
21202	フィールド文化学概説B	フィールドワークという方法の長所と短所、面白さと難しさ等について知り、「フィールド文化学」の基礎を学ぶ。	2				*
21203	比較文化学概説A	南アジアの仏教美術を理解するとともに、人間の文化的所産としての宗教を、幅広い視野から考察することをめざす。あわせて、仏教の基本的な考え方を身につける。	2			*	
21204	比較文化学概説B	日本の仏教建築、神社建築に見られる伝統的な建築技術の変遷を通して日本文化の形成とその発展の過程を理解する。	2			*	
21205	文化人類学概説A	文化人類学の基本的な考え方やものの見方を学び、自分とは異なる異文化・異社会の人びとの理解や協調の基礎作りをする。	2		*		
21206	文化人類学概説B	文化人類学の基本的な考え方やものの見方を学び、自分とは異なる異文化・異社会の人びとの理解や協調の基礎作りをする。	2		*		
21207	文化遺産学概説A	いわゆる有形・無形の別を問わず、また、日本国内ばかりではなく世界各地の事例についても、文化遺産全般に対する関心を高め、併せて基礎的な知識を習得する。	2				*
21208	文化遺産学概説B	いわゆる有形・無形の別を問わず、また、日本国内ばかりではなく世界各地の事例についても、文化遺産全般に対する関心を高め、併せて基礎的な知識を習得する。	2				*
21211	フィールド調査法A	人文系フィールドワークがどのようなものであるのか、また、どのような技術が必要であるのかについて学ぶ。	2	*			
21212	フィールド調査法B	フィールドワークにより得た資料をどのように整理・分析し、新たな知見を得るのかを学ぶ。	2		*		
21213	フィールド基礎実習	調査テーマの選び方、聞き取り、参与観察、音声・画像・ビデオ・データの記録・整理・活用、文字記録のつけ方と整理・分析法、仮説の形成ときたえ方、報告書の構成法などを実習を通して身につける。	2				
41464	仏教文化論	インドで起こり、日本を含むアジア各地に伝播した仏教が、それぞれの地域と時代でどのような文化を生み出したかを学ぶ。	2~4				

副専攻名 フィールド文化学

副専攻のCP(カリキュラム編成方針)

1年次には、フィールド調査やそれをベースにした研究方法について、「フィールド文化学概説」を中心に学ぶ。2年次以降は、比較文化学、文化人類学、文化遺産学の各フィールド系研究領域における基本的な考え方やフィールド調査における基本技術を習得するため、「比較文化学概説」、「文化人類学概説」、「文化遺産学概説」のほか、「フィールド基礎実習」で自分の足で歩き、自分の目で見、自分の肌で感じるフィールド体験から学ぶとともに、調査レポート作成や研究発表のプレゼンテーションの力をつける。

副専攻の学習成果

人類の文化や社会に関するさまざまな問題に、総合的・学際的な視野からフィールドワークを中心にアプローチし、得られた情報を論理的に整理・分析・考察し、説得力ある結論を導くことができる。

副専攻を構成する科目

科目番号	授業科目名	学生の学習目標	学年	Q	Q	Q	Q
				1	2	3	4
41463	比較文化論	世界の歴史的建造物を通して、建築が文化の表現であり、民族性、社会性などを読み取ることができるようにする。	2、3年			*	*
41466	日本の思想と宗教	仏教思想を中心に日本の思想と宗教に関する基礎的な知識と分析方法を習得する。	2、3年			*	*
41465	南アジア文化論	仏教石窟、ヒンドゥー教寺院を通して、建築文化の融合の様相を把握できるようにする。	2～4			*	*
41468	比較民族誌	東南アジアの、民族状況や民族の生活を学ぶことを通じて、異文化理解の力を身につける。	2～4				
41469	文化人類学講義	「伝統」および「現代」に関して、世界中の具体的な事例をとりあげながら、その概念および実態を学ぶ。	2～4			*	*
41467	地域文化論	文化人類学の視点から見た地域文化のあり方を、具体的事例検討を通じて把握する。	2、3年	*	*		
41472	西洋美術史A	西洋美術の流れを様式史として把握するとともに人間と美術の関係を歴史的背景の中で考察できるようにする。	2～4	*	*		
41473	西洋美術史B	西欧におけるルネサンス美術について、その時代背景を踏まえて、作品の主題と表現を考察できるようにする。	2～4			*	*
41474	比較美術史	東西の美術作品を視覚的かつ歴史的に洞察し、現代的視野でアプローチすることができるようにする。	2年	*	*		
41475	古代文明論	世界各地の古代文明の成立・発展・衰退の過程について、考古資料、建築資料、図像資料、文字資料などを駆使して研究する方法を学ぶ。	2、3年	*	*		
10023	世界遺産学	人類共有の財産とされる「世界遺産」の制度と理念、保護と振興、法整備と国際協力などの諸問題について基本的知識を身につける。	2、3年	*	*		
41484	比較文化論演習A	仏教に関する文献の読解力と、図像作品を解釈する方法、さらに発表の技法を身につける。	2～4				
41485	比較文化論演習B	仏教に関する文献の読解力と、図像作品を解釈する方法、さらに発表の技法を身につける。	2～4				
41486	南アジア文化論演習A	インドの文化を表象する彫刻、建築の基本的な文献を読み、作品の主題と意匠を文化的背景の中で理解できるようにする。	2～4	*	*		
41487	南アジア文化論演習B	文献購読を通して建築用語になじみ、建築意匠の特質を理解できるようにする。	2～4			*	*

副専攻名 フィールド文化学

副専攻のCP(カリキュラム編成方針)

1年次には、フィールド調査やそれをベースにした研究方法について、「フィールド文化学概説」を中心に学ぶ。2年次以降は、比較文化学、文化人類学、文化遺産学の各フィールド系研究領域における基本的な考え方やフィールド調査における基本技術を習得するため、「比較文化学概説」、「文化人類学概説」、「文化遺産学概説」のほか、「フィールド基礎実習」で自分の足で歩き、自分の目で見、自分の肌で感じるフィールド体験から学ぶとともに、調査レポート作成や研究発表のプレゼンテーションの力をつける。

副専攻の学習成果

人類の文化や社会に関するさまざまな問題に、総合的・学際的な視野からフィールドワークを中心にアプローチし、得られた情報を論理的に整理・分析・考察し、説得力ある結論を導くことができる。

副専攻を構成する科目

科目番号	授業科目名	学生の学習目標	学年	Q	Q	Q	Q
				1	2	3	4
41488	地域文化論演習A	地域文化に関する民族誌や研究書を読むことで、地域文化が住民のつくる社会、制度、慣習、またその主要な生業や宗教信仰など多様な要素から構成されていることを知る。	2年			*	*
41489	地域文化論演習B	事例研究を通して、文化を生かした地域社会のあり方やその生かし方を考えることができるようにする。	2年	*	*		
41490	文化人類学演習A	特に英語で書かれたモノグラフを読むことを通して、文化人類学の報告書の読み方を学び、人類学的なものの見方の基礎を身につける。	2～4	*	*		
41491	文化人類学演習B	文化人類学および日本民俗学分野の日本語の論文を読み、内容を正確に理解するとともに、人類学的なものの見方を身につける。	2～4			*	*
41492	ヨーロッパ文化遺産学演習A	16世紀末に刊行されたイエズス会の図説福音書をテキストにキリスト教図像学の基礎を身につける。	2～4	*	*		
41493	ヨーロッパ文化遺産学演習B	キリスト教の「旧約聖書」図像学を中心に、キリスト教美術読解の方法を身につける。	2～4			*	*
41494	東アジア文化遺産学演習A	東アジアにおける文化遺産学研究の現状と課題について幅広い知識を身に付けるとともに、実際の研究事例に当たり、理論と方法についても理解を深める。	2～4	*	*		
41495	東アジア文化遺産学演習B	いわゆる先史／歴史時代の垣根を取り払い、考古資料、図像資料、文献資料、民族・民俗資料などを駆使して、東アジアにおける物質文化の変遷を明らかにする方法を身につける。	2～4			*	*
41861	西アジア文化遺産学演習A	西アジア先史・古代の文化遺産について、遺跡を単位として、具体的な調査データを基に遺跡のもつ歴史的・文化的意義を考察できるようにする。	2～4	*	*		
41862	西アジア文化遺産学演習B	西アジア先史・古代の文化遺産について、その基本的枠組みを理解した上で、特定の遺跡についての包括的な考察ができるようにする。	2～4			*	*
41845	比較文化学実習A	仏教儀礼、仏教美術、建築の調査を通して、比較文化学の基礎的な手法を身につける。	3～4	*			
41846	比較文化学実習B	比較文化学の基礎的な手法とともに、写真撮影の基本的な技術、デジタルデータの処理・整理・保存方法、ワード、エクセル、Photoshop等のソフトウェアの活用法などを身につける。	3～4		*		
41847	比較文化学実習C	比較文化学の基礎的な手法を身につける。	3～4			*	

副専攻名 フィールド文化学

副専攻のCP(カリキュラム編成方針)

1年次には、フィールド調査やそれをベースにした研究方法について、「フィールド文化学概説」を中心に学ぶ。2年次以降は、比較文化学、文化人類学、文化遺産学の各フィールド系研究領域における基本的な考え方やフィールド調査における基本技術を習得するため、「比較文化学概説」、「文化人類学概説」、「文化遺産学概説」のほか、「フィールド基礎実習」で自分の足で歩き、自分の目で見、自分の肌で感じるフィールド体験から学ぶとともに、調査レポート作成や研究発表のプレゼンテーションの力をつける。

副専攻の学習成果

人類の文化や社会に関するさまざまな問題に、総合的・学際的な視野からフィールドワークを中心にアプローチし、得られた情報を論理的に整理・分析・考察し、説得力ある結論を導くことができる。

副専攻を構成する科目

科目番号	授業科目名	学生の学習目標	学年	Q	Q	Q	Q
				1	2	3	4
41848	比較文化学実習D	比較文化学の基礎的な手法を身につける。	3～4				*
41849	文化人類学実習A	ミクロな地域社会での生活を、社会、経済、家族関係、信仰などの観点から総合的に把握する方法を身につける。	3～4	*			
41850	文化人類学実習B	ミクロな地域社会での生活を、社会、経済、家族関係、信仰などの観点から総合的に把握する方法を身につける。	3～4		*		
41851	文化人類学実習C	現地調査の観察・聞き取り資料や文献・統計資料をもとに、随時補充調査をおこないながら、データを整理・分析し、調査報告書の形に纏めてゆく方法を学ぶ。	3～4			*	
41852	文化人類学実習D	現地調査の観察・聞き取り資料や文献・統計資料をもとに、随時補充調査をおこないながら、データを整理・分析し、調査報告書の形に纏めてゆく方法を学ぶ。	3～4				*
41853	文化遺産学実習A	文化遺産学分野の調査・研究に必要不可欠な、(各種照明を含む)写真撮影・画像処理・遺構実測・遺物実測・拓本などの基本的スキルを身につける。	3～4	*			
41854	文化遺産学実習B	文化遺産学分野の調査・研究に必要不可欠な、(各種照明を含む)写真撮影・画像処理・遺構実測・遺物実測・拓本などの基本的スキルを身につける。	3～4		*		
41855	文化遺産学実習C	文化遺産学分野の調査・研究に必要不可欠な、(各種照明を含む)写真撮影・画像処理・遺構実測・遺物実測・拓本などの基本的スキルを身につける。	3～4			*	
41856	文化遺産学実習D	文化遺産学分野の調査・研究に必要不可欠な、(各種照明を含む)写真撮影・画像処理・遺構実測・遺物実測・拓本などの基本的スキルを身につける。	3～4				*